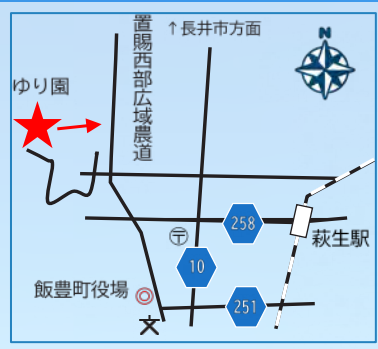


いいでどんでん平ゆり園展望台から望む

# 「田園散居集落」

(飯豊町)



# 受け継がれる

# 置賜の農村風景



特集 きて！みて！山形の農村風景

## 農村生活と風景

飯豊町秋生地区・中地区に広がる『田園散居集落』は、広大な農地の中に家々が点在する特徴的な風景を形成する。散居集落の多くは扇状地に生まれ、この飯豊町の散居集落も飯豊連峰の扇状地として古くから稲作地帯へと発展し、水田農業が営まれてきた。

家の北西に植栽された杉の屋敷林には風雪を防ぐ他にも様々な用途があり、夏には日差しを遮り、秋には収穫後の稲を乾燥させる稲掛けの柱となり、枝葉は燃料として活用される。

田園散居集落は、農村生活と密接に関わりながら作られ、受け継がれてきた風景である。

## 編集委員イチ押し

### ポイント！



撮影場所は、『いいでどんでん平ゆり園』の展望台で、黄金色の稲穂が一面に広がる写真は令和3年9月下旬に撮影。

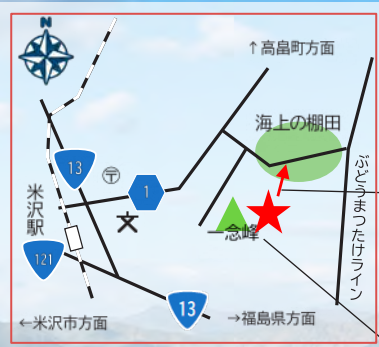
稲の色づきとともに日々移り変わる色彩と、農村の営みの中で育て受け継がれてきた変わらない風景を楽しむことができる。

いちねんぼう

一念峰の山頂から望む  
かいしょう

# 「海上の棚田」

(高畠町)



## 棚田と風景

山の斜面や谷間など傾斜地につくられた田んぼは『棚田』と呼ばれる。その中でも高畠町上和田にある海上の棚田は、地域住民の保全活動や美しい風景が評価され『やまがたの棚田 20 選』に選定されている。昭和初期までは原野・湿地だったが、食糧増産の国策として開田され、この田園風景が形成された。集落を走る町道には、地域の環境美化活動でつくった水仙ロードがあり、春を迎える頃には棚田に彩りを添える。

## 編集委員イチ押し

### ポイント!!



撮影場所は、米沢市と高畠町の境に位置する一念峰の山頂。登山道は片道 40 分ほどで、初心者でも登れるコースになっているが、後半ははしごを登ったり、岩の間をくぐり抜けたりと、アスレチックのような道が続く。

棚田とともに眼下に広がる里山はまさに日本の原風景。登山を楽しみながら、この景色を写真に収めてみてはどうだろうか。